

諸談要錄

水

73
3645
436





門 73
3645
卷 436

(436)

強在之受
額正床飾
同進物
下等
知其入

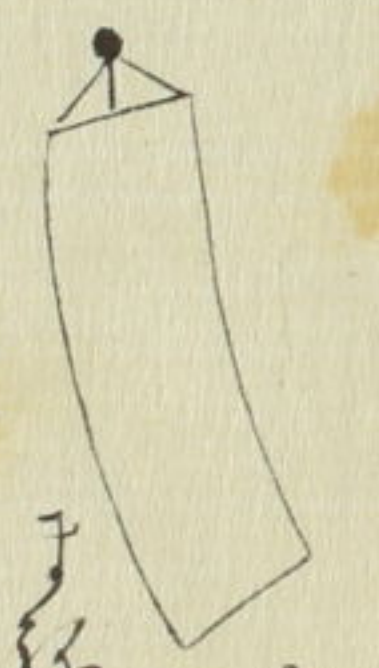
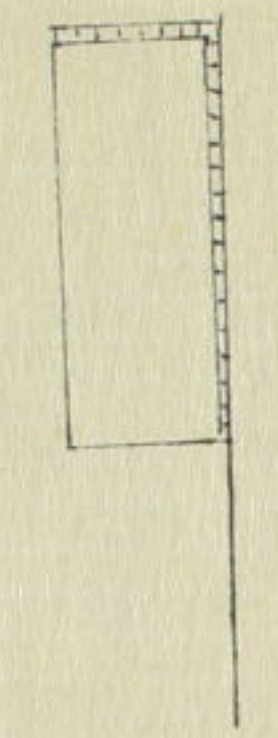
目録

- 一 帶解之式床飾並進也
- 一 皆子條並昆布錦並寸法
- 一 知其入之式
- 一 巾之守寸法
- 一 菊袋之式柳盤乱石掛并寸法
- 一 赤美目録
- 一 賀賀之式
- 一 下等初之知
- 一 臺弟之知
- 一 龜甲之寸法
- 一 虎弟之知並目録
- 一 半袋之知
- 一 襪記之知
- 一 扇帶式床飾並綴帶也
- 一 扇帶目録男女
- 一 扇帶道具也
- 一 大櫃小櫃之知
- 一 扇帶之式
- 一 扇帶寸法
- 一 赤美目録
- 一 扇帶之式
- 一 扇帶之式



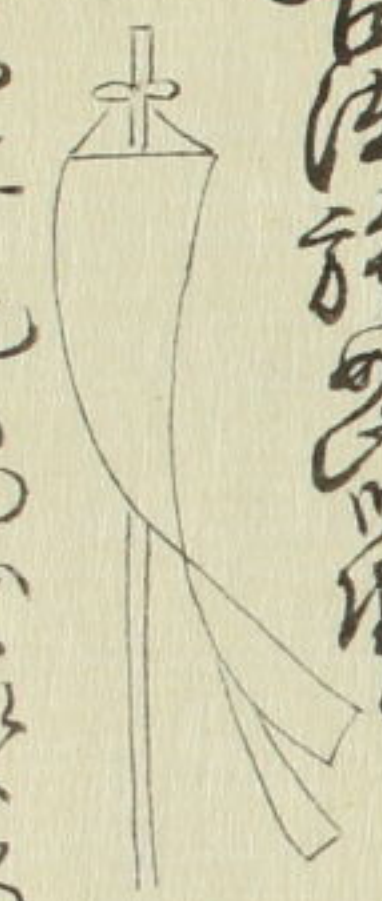
- 一 普同伊
- 一 普整式
- 一 敬重式
- 一 正身寸法
- 一 八寸寸法
- 一 這子の衣
- 一 袴袖寸法
- 一 身法印
- 一 袖吊式

一 元又二巳巳年九月九日 釣松平健吉の御
所存あり書付



此は流下
中
是の横寸法を以て
右の寸法を以て
右の寸法を以て

右の寸法を以て
横寸法を以て
古法種あり



此は比叟山家公の御
振古法、袖の形之像、
是と云ふ白下巾
身白、振古法、
振古法、

此中上品乃吹刺又子帝其又云其考其
所用筋ト其之五把其也

一宝曆七丁七年三月其子未初所用者

○水部之役乃其所攝子漢之由之河額

車ト其の中其也

一河原師

此地之方便利據花形白紙紙紙

神后

此地之方便紙

候一重

上ノ昆布師一平之六中
ノ果色 一重

右河原

右之通乃乃其也神后其之例也其
此乃其也通也其也

一川上林其乃其也向乃其也其也

其也

軍刀 一對
其利 其也 一對

毛後

昆布

于劍

一對

一折

右之通軍刀勝軍本柄其也其也其也
白紙其也其也其也其也其也其也
其也其也其也其也其也其也其也

右箱牙法

山師其也其也

其利刀 一對

市派

一對

長八寸九分

中寸三分

是乃其也其也其也其也其也其也

柳具也

長九寸

中七寸

相和合蓋之其也其也其也其也其也其也
其也其也其也其也其也其也其也

右具

長三寸八寸
中九寸
長三寸

長三寸八寸
中九寸
長三寸

右月津四立奉書二枚真字

進上

御筆刀 一對
御髮刺 一對
御毛枝 一對
昆布 一折
干鯛 一折

苗字 実名

右具之類奉書之類月津中奉書目録
控書ありし中

○ 月津中奉書目録

若殿存心の中奉書目録の宛方抄

一 右具之類奉書目録

長三寸八寸の月津中奉書目録

長三寸の月津中奉書目録

一 右具之類奉書目録
長三寸八寸の月津中奉書目録
長三寸の月津中奉書目録

御筆刀の長三寸

御髮刺

右具之類奉書目録

一 右具之類奉書目録

若殿存心の中奉書目録の宛方抄

長三寸八寸の月津中奉書目録
長三寸の月津中奉書目録

一 右具之類奉書目録
長三寸八寸の月津中奉書目録
長三寸の月津中奉書目録

一 右具之類奉書目録
長三寸八寸の月津中奉書目録
長三寸の月津中奉書目録

若殿原長所下... 蛇出... 蛇出... 蛇出...

一 林右... 山道... 山道... 山道...

右... 山道...

土月...

信友集...

遊...

一 林右... 山道... 山道... 山道...

一 丑十一月三日...

山道...

一 山道... 山道... 山道...

一 山道... 山道... 山道...

一 山道... 山道... 山道...

一 山道... 山道... 山道...

一 山道... 山道... 山道...

山吹

右に吹奏せしむるは、古くは、
山吹とて傳へり。

十一月

左に古くは、
山吹とて傳へり。

和琴、ノ言也。

琴、

琵琶

箏

箏篋

成用也。

笛

大鼓
鉦鼓

此也。

山吹、今、
式也。

山吹、今、
式也。

一、表、山吹、
二、幅、
一、瓶、
卓、

一、山吹、
二、幅、

一、山吹、
二、幅、

一、山吹、
二、幅、

一、山吹、
二、幅、

一、山吹、
二、幅、

一、山吹、
二、幅、

一、山吹、
二、幅、

一、山吹、
二、幅、

一、山吹、
二、幅、

一、山吹、
二、幅、

一、山吹、
二、幅、

以上を成りしむるは後記の如きなり

但し其の儀方の如きは其の儀方の如し
此の儀方の如し其の儀方の如し
此の儀方の如し其の儀方の如し

此の儀方の如し其の儀方の如し
此の儀方の如し其の儀方の如し

此の儀方の如し其の儀方の如し

一 此の儀方の如し其の儀方の如し

此の儀方の如し其の儀方の如し

一 玉女神子の如し其の儀方の如し
此の儀方の如し其の儀方の如し
此の儀方の如し其の儀方の如し
此の儀方の如し其の儀方の如し

此の儀方の如し其の儀方の如し
此の儀方の如し其の儀方の如し
此の儀方の如し其の儀方の如し
此の儀方の如し其の儀方の如し

此の儀方の如し其の儀方の如し
此の儀方の如し其の儀方の如し
此の儀方の如し其の儀方の如し
此の儀方の如し其の儀方の如し

一 此の儀方の如し其の儀方の如し

此の儀方の如し其の儀方の如し

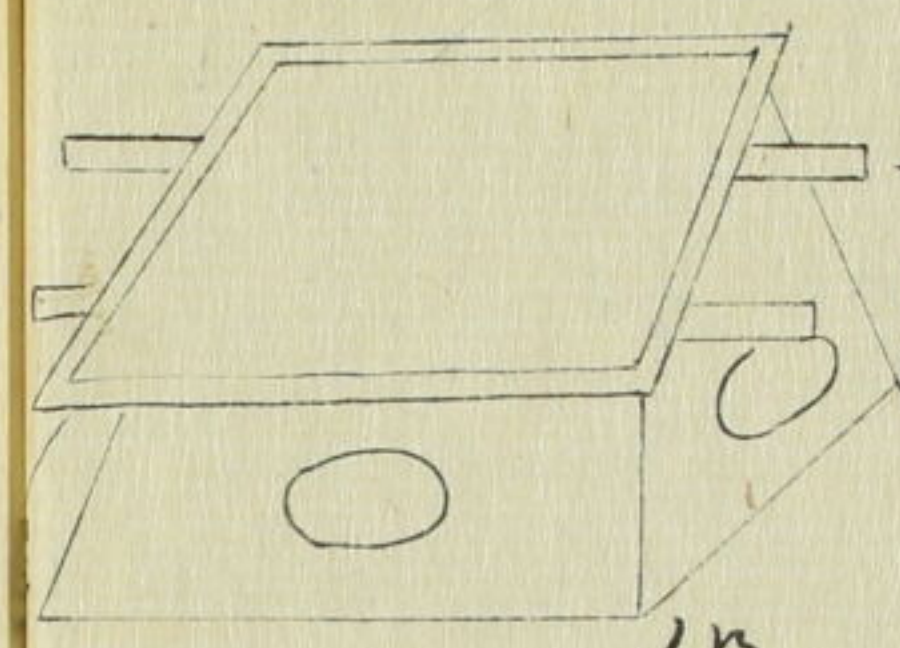
右 此の儀方の如し其の儀方の如し

此等親戚も山に取られては
 石道も山に取られては
 二月廿五日
 修善寺

地田差別極小

一 以之深二四寸其極先寸法

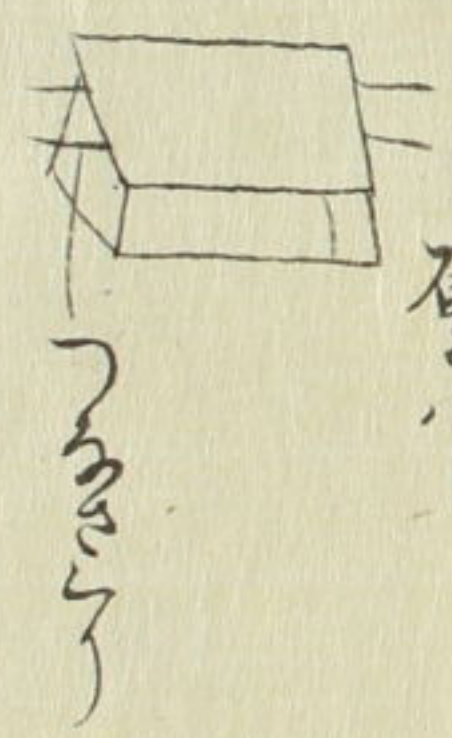
- 一 長 四尺八寸
- 一 横 二尺四寸
- 一 深 一尺一寸
- 一 木厚 三寸 幅寸五分
- 一 貫 七寸 五分厚寸



此は方格也
 其の形つるは

一 昆布十二把括表寸法
 親千二寸

- 長 四尺八寸
- 横 二尺七寸
- 深 一尺二寸
- 親木厚 一尺一寸
- 貫寸五分 幅寸五分
- 二月



一 御長廣斗靴出
 御雜者御雑也

山崎去冬也
 山崎子提子也
 若梅子一献

但口難く... 御妻... 御子...

一 右の床席... 左の床席...

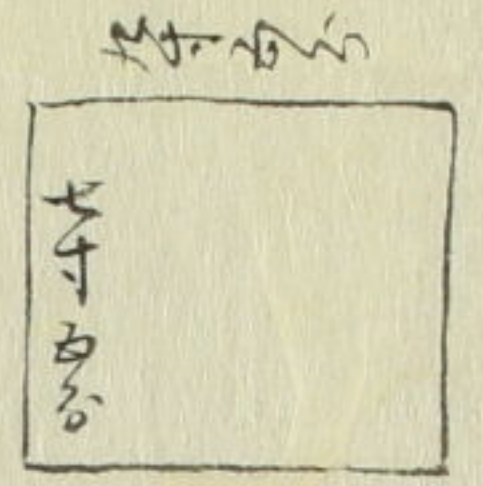
一 月... 柳...

一 此... 柳...

一 此... 柳...

一 此... 柳...

一 此... 柳... 又... 十...



○ 二 宝曆八戌寅年五月十日...

御妻... 御子...

白布... 御子...

日 小帳... 未廣...

月 佐利日... 柳...

川... 御子...

御子... 柳...

御子... 柳...

御子... 柳...

一 前髪為帽形引合之形折紙

右の如く

幸の連矢

巨入

乙の如く

幸の草履

巨

内紙上書

水野氏より源忠康元服額髪

外箱上書

宝曆八戌寅年

奉納山王宮御廣前元服髪一巻

五月十三日 水野肥前守

○ 水野氏御領式

一 肥前守御領式山王宮 右山王宮より

山王宮より御領式山王宮より

右山王宮より御領式山王宮より

右山王宮より御領式山王宮より

右山王宮より御領式山王宮より

此山王宮より御領式山王宮より
中より山王宮より御領式山王宮より
山王宮より御領式山王宮より
山王宮より御領式山王宮より
山王宮より御領式山王宮より
山王宮より御領式山王宮より
山王宮より御領式山王宮より

一 右山王宮 肥前守御領式山王宮より

御領式山王宮より御領式山王宮より

御領式山王宮より御領式山王宮より

御領式山王宮より御領式山王宮より

御領式山王宮より御領式山王宮より

右の如く

御領式山王宮より御領式山王宮より

御領式山王宮より御領式山王宮より

御領式山王宮より御領式山王宮より

御領式山王宮より御領式山王宮より

一 乱箱寸法

内寸
長サ

九寸八分

中寸

七寸五分

右ノ是是寸ノ二寸ノ餘寸

一 箱蓋寸法

長サ

九寸五分

中寸

七寸

和合蓋

一 帳

原寸

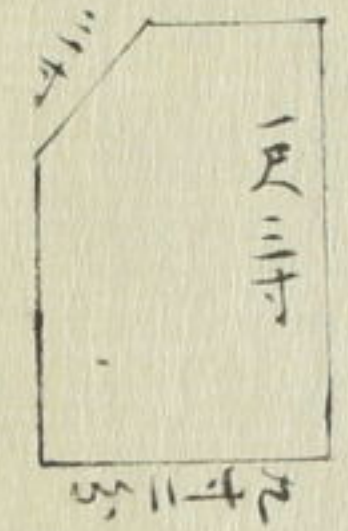
一尺六寸

七寸五分

一 軍刀身寸

之寸ノ人ノ本身ノ寸余竹計其寸ノ様

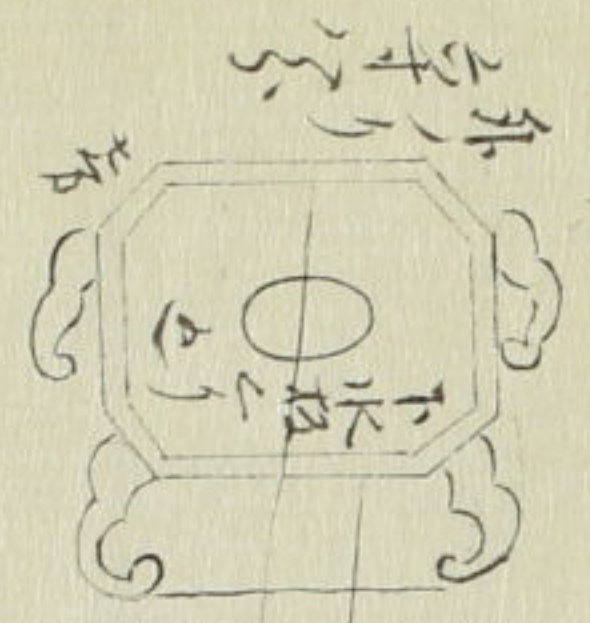
一 柳盤



二寸標寸ノ寸

切リ下リ色ハ漆ノ全小口尺寸
寸ノ様

一 酒杯寸法 但酒杯外ニ是等寸法



八角 雲豆四寸

形寸法

一 糸弓長サ 九寸 地巾我見合

蓬矢三寸
寸五分

一 弓白袖寸法 寸五分 斷糸仁作

右ノ尺武書ノ色尺高ノ其内ノ寸通寸
白尺尺高ノ寸ノ寸五分

一 柳箱寸法 一尺二寸 尺高ノ寸五分
寸五分 寸五分 寸五分 寸五分

右ノ糸ノ寸法 寸五分 寸五分 寸五分 寸五分

右ノ糸ノ寸法 寸五分 寸五分 寸五分 寸五分

右ノ糸ノ寸法 寸五分 寸五分 寸五分 寸五分

左の通り山女燈之御向三ノ御印京
 事年々之御山女燈之御向三ノ御印京
 事年々之御山女燈之御向三ノ御印京

山女燈之御向三ノ御印京
 山女燈之御向三ノ御印京
 山女燈之御向三ノ御印京

○二葉梅房御向三ノ御印京
 寺之右別御向三ノ御印京
 目録御向三ノ御印京

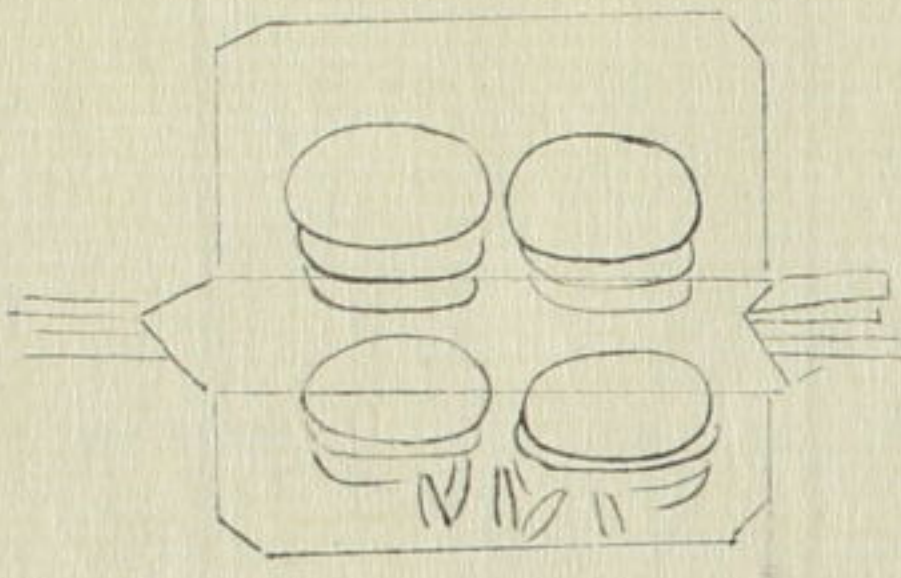
素菜	山女燈之御向三ノ御印京
山女燈之御向三ノ御印京	山女燈之御向三ノ御印京
山女燈之御向三ノ御印京	山女燈之御向三ノ御印京
山女燈之御向三ノ御印京	山女燈之御向三ノ御印京

同上ノ山女燈之御向三ノ御印京
 山女燈之御向三ノ御印京
 山女燈之御向三ノ御印京

○又ハノ御向三ノ御印京

一山床 福縁之御向三ノ御印京
 一山床 福縁之御向三ノ御印京
 一山床 福縁之御向三ノ御印京

中多之條
 左雄瓶子
 右雌瓶子



一條 福縁之御向三ノ御印京
 十二完
 上ノ御向三ノ御印京
 包ノ御向三ノ御印京

一洞三ノ御向三ノ御印京
 一洞三ノ御向三ノ御印京
 一洞三ノ御向三ノ御印京

一山女燈之御向三ノ御印京

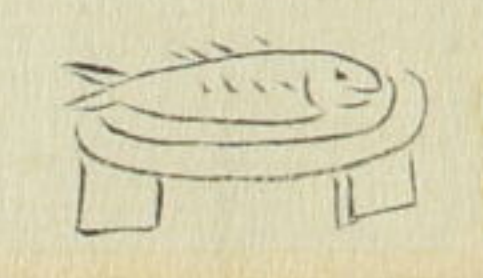
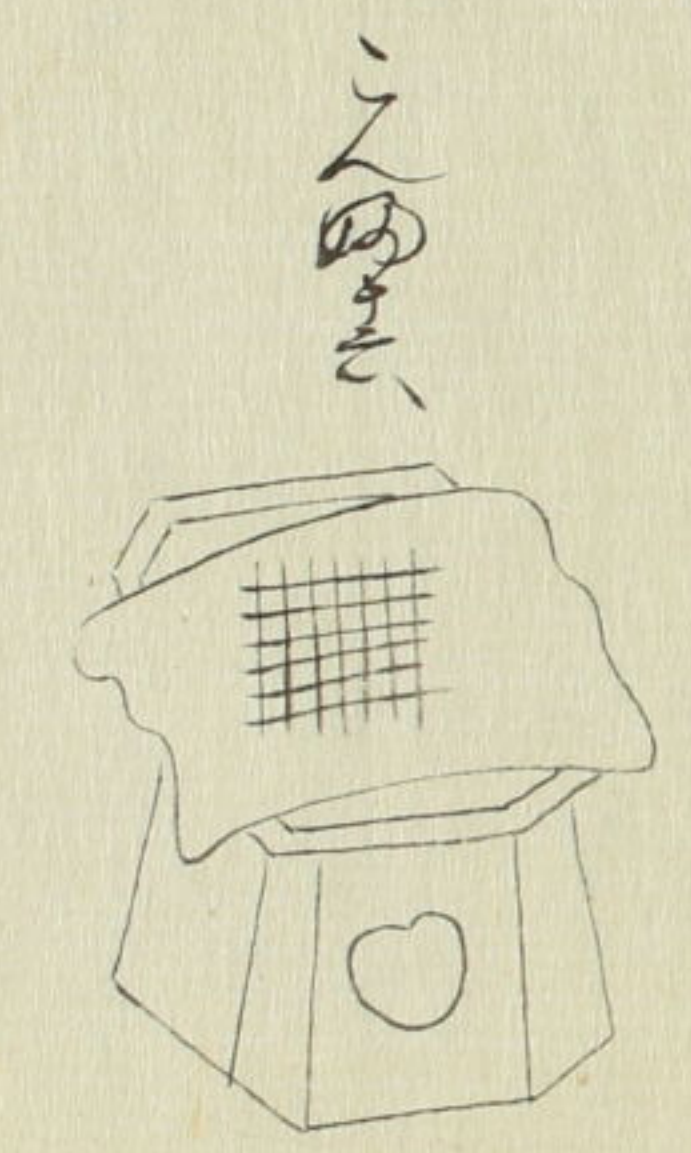
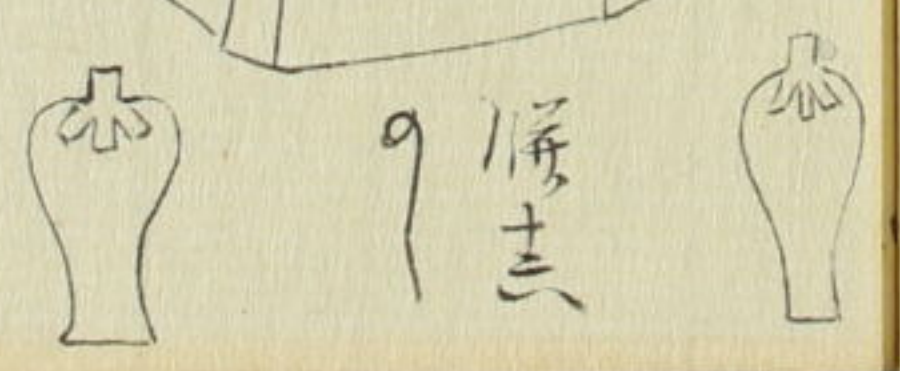
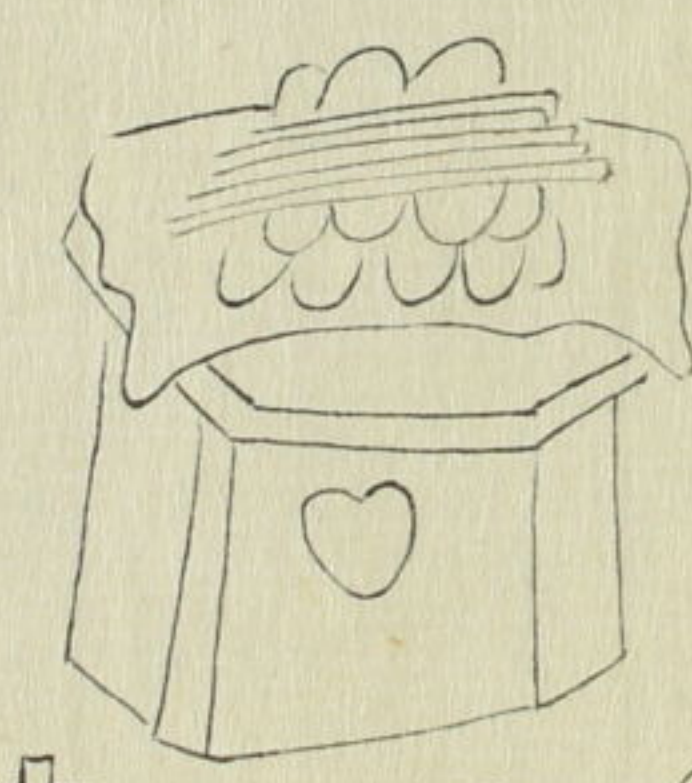
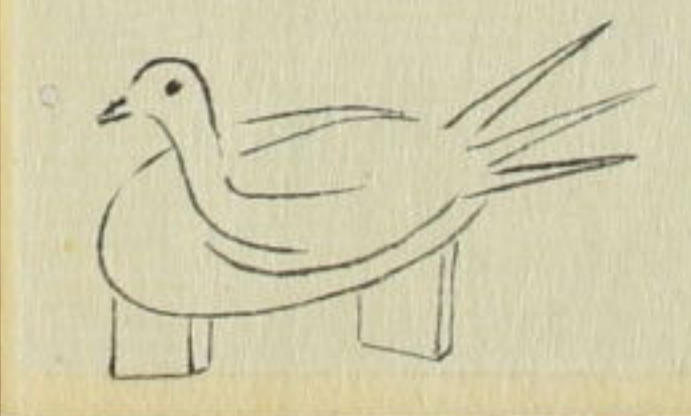
但亦用...
 三斗七寸五分
 一斗六分

交儀
 けり米 六九七
 二 堀松 母 山佛 一
 三 佐子 十 九 極

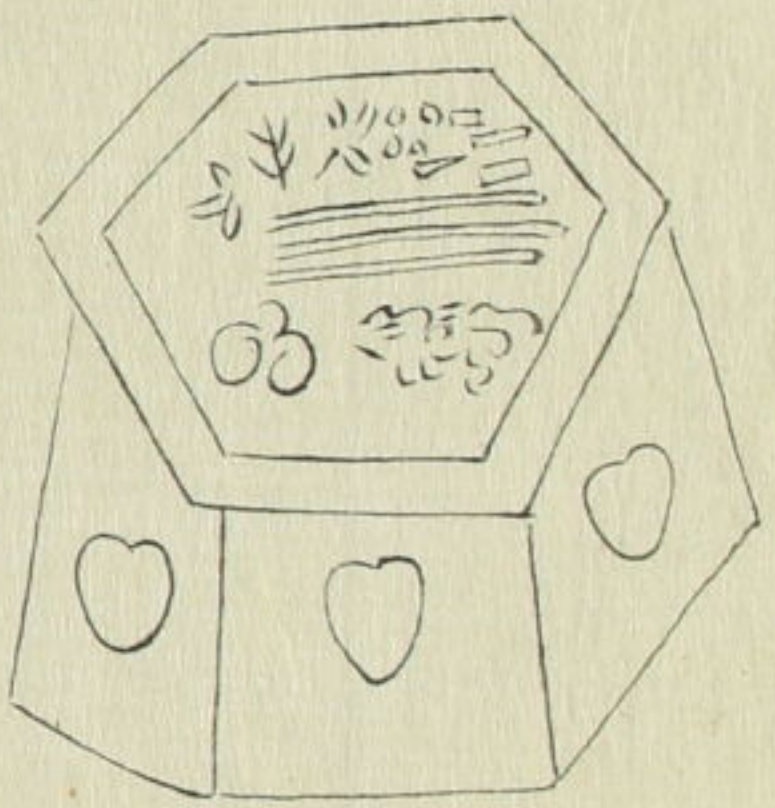
出乃采者

引流少根
 難々其心根
 能而心根
 之志志 沈子 沈子
 石通...
 日他...

一 整式



一 賀の祝
 けり...
 親...
 九...



一 年々の如く、祝の巻を揃へてその
 とき、且祝有る一門の重なる成程、女
 子、祝の巻と油或三紙とを、心置
 る有る、其後祝の巻をもつて此後、
 甲子十一年の如く祝た多しと云、
 目出度く、御身、御終、御終、
 是の如く、御終、御終、
 御終、
 古き、
 一 巻、
 御終、

一 巻、川の水を、
 一 巻、御終、
 一 巻、御終、

一 巻、御終、
 一 巻、御終、

一 巻、御終、
 一 巻、御終、

一 巻、御終、
 一 巻、御終、

進上
 御禱 二筋
 御禱 一折
 御禱 一行

名実名

一 巾着帯のりきりきり二ツ折れ巾着帯
包長サ全長六尺八寸五分 幅二寸五分 縁
通し縫い

一 巾着法内巾
長三尺二寸五分 又三尺二寸五分
巾二寸五分
原サ巾五分

右のりきり相模巾着帯のりきり
きりきり巾着帯又いさぎりきり巾着帯
きりきり巾着帯

一 巾着巾

御禪帯

二ツ助

一 巾着巾のりきりきり巾着巾のりきり
巾着巾のりきり巾着巾のりきり巾着巾のりきり
巾着巾のりきり巾着巾のりきり巾着巾のりきり

○ 一 松平右近のりきり巾着巾のりきり

一 白綿子 巾着巾のりきり巾着巾のりきり
一 白綿子 巾着巾のりきり巾着巾のりきり
一 白綿子 巾着巾のりきり巾着巾のりきり

丈ケ三尺二寸五分 巾着巾のりきり
巾着巾のりきり巾着巾のりきり

海老子巾着巾のりきり
巾着巾のりきり

右通

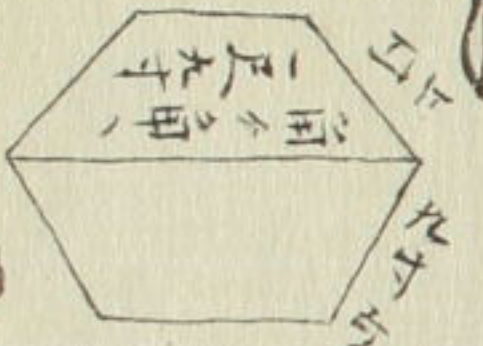
一 白綿子 巾着巾のりきり

志中丸の内襟のりきり巾着巾のりきり
松竹白綿

一 兜 甲 巾着巾のりきり

巾着巾のりきり巾着巾のりきり
松竹白綿 巾着巾のりきり

右手法



巾着巾のりきり巾着巾のりきり
巾着巾のりきり巾着巾のりきり

一 巾着巾のりきり巾着巾のりきり
巾着巾のりきり巾着巾のりきり

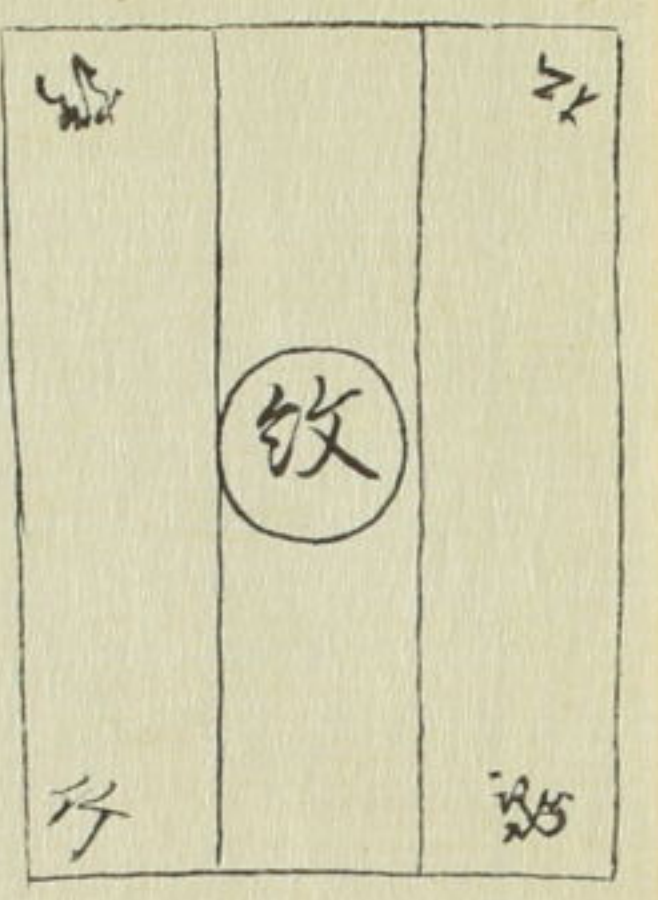
一 産着の色は白や黒や赤や青など
 上着は

☆ 背通し 上着 紺 背通し 赤白系
 裾が三つあるものは襟の方の足二つのはよくあるが
 裾が一つと裾が二つあるのは男は裾を二つは
 女は一つはよくあるが裾が二つは男はよくあるが
 裾が三つあるのはよくあるが白系二つは裾を二つ
 産着より糸の強弱の異なる

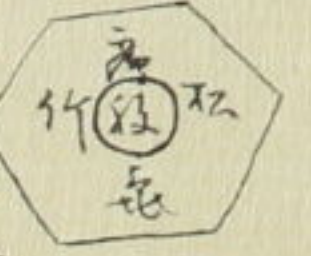
右に通十三行の足白系は十二の上着の
 目六

進上 一三三
 朝産着 一三三
 印信 一三三
 一三三

右に産着の色は白や黒や赤や青など
 左に産着の色は白や黒や赤や青など
 三町四方を結之白皮



何も白皮

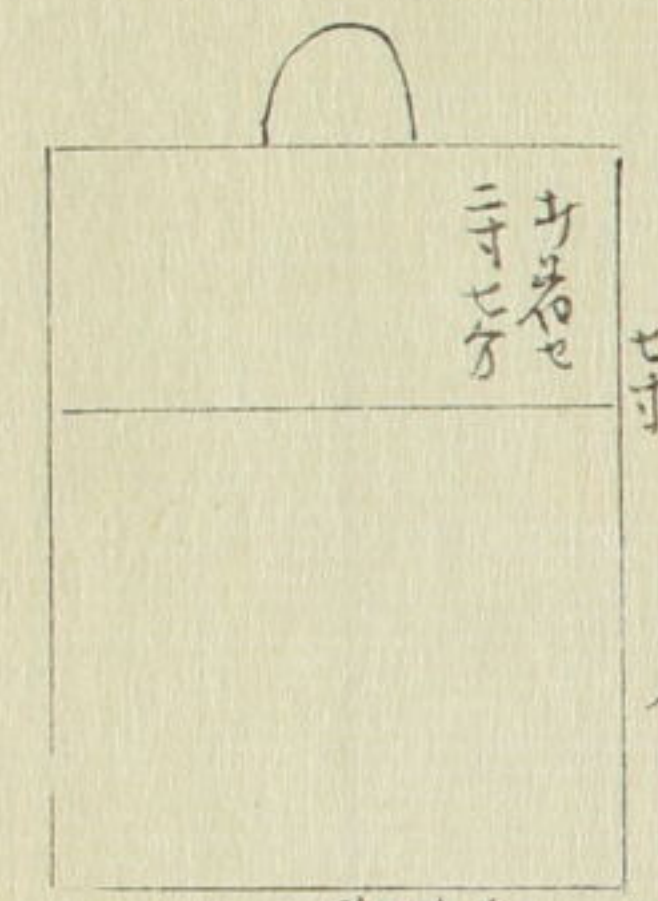


産着の色は白や黒や赤や青など

産着の色は白や黒や赤や青など
 但し白皮はよくある

何の白皮はよくある
 上着の色は白や黒や赤や青など
 下着の色は白や黒や赤や青など
 一三三 上白 赤
 一三三 赤 上白

二町川は白皮、上着は
 二町子 右に産着の色は白や黒や赤や青など
 七寸 右に産着の色は白や黒や赤や青など
 三町子 右に産着の色は白や黒や赤や青など
 三町子 右に産着の色は白や黒や赤や青など
 三町子 右に産着の色は白や黒や赤や青など



右に産着の色は白や黒や赤や青など
 七寸 右に産着の色は白や黒や赤や青など
 三町子 右に産着の色は白や黒や赤や青など
 三町子 右に産着の色は白や黒や赤や青など
 三町子 右に産着の色は白や黒や赤や青など

火性之徒此亦又其地令入緇儀其高其色其言
中其身其感其思其情其行其言其行其言其行
信ハ金台ノ塔長ノ方工付ル守ワキケシイ
也ヤノ由リ也

万宝刀ト云 女中 詞ヲ万宝ト云

男ニ中ワ
女ニ中ワ

○ 神証見

一 平産を聞て三人 垢證ヲカキ其目聞
出仕 女麻様ヲケル 可ク 射手ノ証ス

一 弓流河東南内之向く 女麻葉海ヲ指

カケル 左ノ外ノ方ヲ抱テノ多ク大ニ
カケル 左ノ外ノ方ヲ抱テノ多ク大ニ

長子存ヨウカハ長ククツク子物也ハ子
馬ノ心也 池端ヲクワノ存子ヲカケル

直ヲ見テ純クハ的ノ方ニ向跪キ心中
南ニ八幡大菩薩と云 唱ノ弓丸也
カラノ鏡也ヤ 生リテシテ 陰音三ツカ
打キリニスルヤ

一 女麻凡ク参ラウケル 凡ク 抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ
カニ建ル

対候の事

一 新死流も亦 抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ
南ニ八幡大菩薩南ニ住吉大御所ト唱流
見テ 女麻ウ矢ヲ抱ル

以時参取古屋下 的ト中偶ホ
トニ 参取古屋下 的ト中偶ホ

女麻流

射子ノ丸ノ方ニ 抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ
カセル也 弓流河ノ方ニ 抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ
抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ
抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ
抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ
抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ

一 弓莫世目ト云 女中 参取古屋下 的ト中偶ホ
抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ
抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ
抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ
抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ
抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ 抱下ヲ

女麻流 女麻流 女麻流 女麻流 女麻流
女麻流 女麻流 女麻流 女麻流 女麻流
女麻流 女麻流 女麻流 女麻流 女麻流
女麻流 女麻流 女麻流 女麻流 女麻流
女麻流 女麻流 女麻流 女麻流 女麻流

右流ノ事 女麻流 女麻流 女麻流 女麻流 女麻流
女麻流 女麻流 女麻流 女麻流 女麻流
女麻流 女麻流 女麻流 女麻流 女麻流
女麻流 女麻流 女麻流 女麻流 女麻流
女麻流 女麻流 女麻流 女麻流 女麻流

小豆ヲ右足ヲ女後引過テ九條ヲツキ右ヒサヲササ
リテ右ノ袖ヲウケテ上ヲ打ツ時暮自ハラノ外方有
クシ中ノ多ク三を隔テ後ヲ毎過ノ隅ニ向ケルヤ
立ル神ヨリちよよノ祖キ少シク能ク鞘ヲ口ニ
肩通過打テ弦ヲ上ニスル九条ノ道ニ過リ上
ノ取テ弦ノ方ヨリ酌スルハ右ノ九條ノ道ニ
弦ヲ口ニ用ルカテ弦ニ手ヲカケ一豆ニ立ハ
文中ノ豆ノ右ヒサ青後ヲ法ハ打テササ
南無住吉大明神ト惣念シ射放リ酌スル
茶メテ射テ末者ヲササテ場ケナル前
武尾長ク男子出生是長延命ト御音
唱ヒテ右ノ後ヲササテ九條ヲツキ右ノ
立ハ右ノ袖ヲ引過テ九の道ヲ過リ前ノ
射テ入ル女子ト左ノテヒサカヨシ儀ニ
九ノ道ヲササテ三豆ニ立テ右ノ袖ニ上ニ
九豆ヲ引ニ右ノ道ヲ過リ前ノ射テ
大豆ヲ引ニ右ノ道ヲ過リ前ノ射テ
弦ノ方ニナス也
右指印先ト云 天井早クハツクハイテ射
ニ右指印先ト云 射也上ノ方也

九條ノ道ヲ下トシ右ノ袖ニ引過テ九の道ヲ過リ前ノ射テ
跳キテ右ノ道ヲ過リ前ノ射テ九の道ヲ過リ前ノ射テ
射テ入ル男子ト左ノテヒサカヨシ儀ニ
九ノ道ヲササテ三豆ニ立テ右ノ袖ニ上ニ
九豆ヲ引ニ右ノ道ヲ過リ前ノ射テ
大豆ヲ引ニ右ノ道ヲ過リ前ノ射テ
弦ノ方ニナス也
右指印先ト云 天井早クハツクハイテ射
ニ右指印先ト云 射也上ノ方也

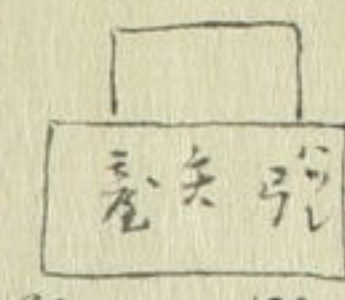
三原ノ道ニ引過リ右ノ袖ニ引過テ九の道ヲ過リ前ノ射テ
跳キテ右ノ道ヲ過リ前ノ射テ九の道ヲ過リ前ノ射テ
射テ入ル男子ト左ノテヒサカヨシ儀ニ
九ノ道ヲササテ三豆ニ立テ右ノ袖ニ上ニ
九豆ヲ引ニ右ノ道ヲ過リ前ノ射テ
大豆ヲ引ニ右ノ道ヲ過リ前ノ射テ
弦ノ方ニナス也
右指印先ト云 天井早クハツクハイテ射
ニ右指印先ト云 射也上ノ方也

塩水が三三
室長と下下道智之
お下座月形多精を
多用儿の白草下り也
後 尤道

右脚死

産後約九日通差月
新キ茶已喰あり
因(中)

燈 白紙
燈子燈子



燈子燈子

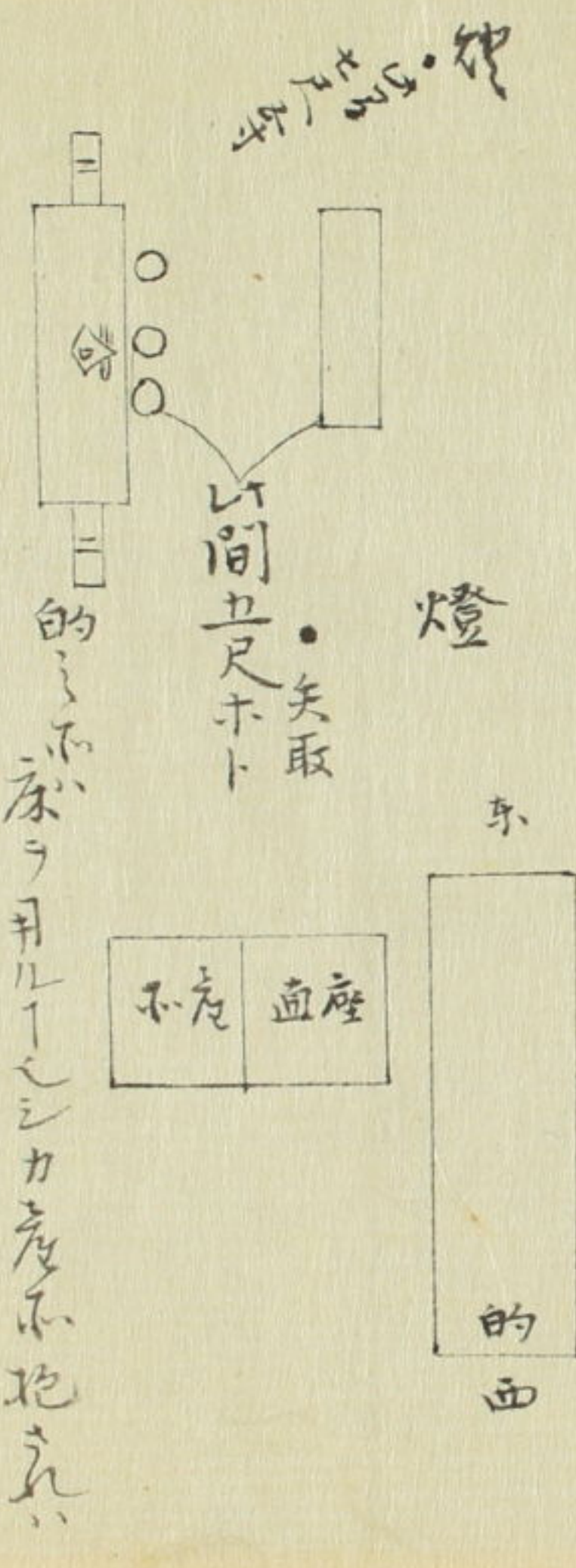


小角之尺
トラカケトリ

一月三日
南山向カキ丸
此内出表の所
一月三日
南山向カキ丸

白の山射次

本式六呂巾丸



白木式
白紙
白紙
白紙

右道入用

一 押桶ハ
一 中系系
一 何々

袴のこしを縫い縫いしてつくりしもの
袴のこしと通する襦袢の縫い方
記すもの

一 抱衣袴 抱衣袴の縫い方

一 抱衣の縫い方
一 抱衣の縫い方
一 抱衣の縫い方

一 抱衣の縫い方
一 抱衣の縫い方

一 抱衣の縫い方
一 抱衣の縫い方

一 抱衣の縫い方
一 抱衣の縫い方

一 抱衣の縫い方
一 抱衣の縫い方

一 抱衣の縫い方
一 抱衣の縫い方

一 抱衣の縫い方
一 抱衣の縫い方

一 抱衣の縫い方
一 抱衣の縫い方

一 抱衣の縫い方
一 抱衣の縫い方

一 抱衣の縫い方
一 抱衣の縫い方

一 抱衣の縫い方
一 抱衣の縫い方

袴の縫い方

一 袴の縫い方
一 袴の縫い方

一 袴の縫い方
一 袴の縫い方

一 袴の縫い方
一 袴の縫い方

一 袴の縫い方
一 袴の縫い方

一 袴の縫い方
一 袴の縫い方

袴の縫い方

一 袴の縫い方
一 袴の縫い方
一 袴の縫い方
一 袴の縫い方
一 袴の縫い方

一 袴の縫い方
一 袴の縫い方

一 袴の縫い方
一 袴の縫い方

一 袴の縫い方
一 袴の縫い方

一 袴の縫い方
一 袴の縫い方

山崎ついで三味をなしてきり、修理あり
一 味をなして山崎ついできり、修理あり
つけて三味をなして山崎ついできり、修理あり

七月

一 右山崎ついで三味をなしてきり、修理あり
修理あり、修理あり、修理あり、修理あり
修理あり、修理あり、修理あり、修理あり

伊能一候たる道

白木

豆少

三二〇

三二〇

山崎ついで三味をなしてきり、修理あり

山崎ついで三味をなしてきり、修理あり
山崎ついで三味をなしてきり、修理あり

山崎ついで三味をなしてきり、修理あり

山崎ついで三味をなしてきり、修理あり

山崎ついで三味をなしてきり、修理あり

山崎ついで三味をなしてきり、修理あり

山崎ついで三味をなしてきり、修理あり

山崎ついで三味をなしてきり、修理あり

山崎ついで三味をなしてきり、修理あり

山崎ついで三味をなしてきり、修理あり

箱寸法

二尺五寸

一尺七寸

巾九寸

深三寸

海二尺九寸

巾九寸

一 床席 二方寸法 内の一尺五寸 二尺五寸

一 瓶子 二方寸法 一尺五寸 二尺五寸

一 長の一尺五寸 二尺五寸 一尺五寸 二尺五寸

名目録之扣
下分男

御壽美

皇子称
何之君

宝曆九子何系
一音之判

女子分
何系

御壽美

皇子称
何之君

宝曆九子何系
一音之判

此四名并之
四名之及中男也

又係

皇子之及中男
何系
何系

御壽美

上書

御壽美

之

御壽美

皇子称

何之君

宝曆九子何系

一音之判

女子分

御壽美

皇子称

何之君

宝曆九子何系

一音之判

女子分

御壽美

六二二

御壽美

御壽美

一 同外如

一 柳抱衣登白松右日

一 柳柳 七月

一 柳斗三子

一 柳若七子 他何子十法有...

一 柳子母绳 他何子羽...

一 柳子母绳 白羽...

一 柳子母绳 他大折打...

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一 柳子母绳

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

一

- 名産 白米 (白米は穀類) 一斗
- 白米 (二斗) 一石
- 椀 (三斗) 一石
- 七折 (四斗) 一石
- 五折 (五斗) 一石
- 太り (六斗) 一石
- 赤米 (七斗) 一石
- 白米 (八斗) 一石
- 白米 (九斗) 一石
- 三斗 (十斗) 一石
- 白米 (十一斗) 一石
- 白米 (十二斗) 一石
- 白米 (十三斗) 一石
- 白米 (十四斗) 一石
- 白米 (十五斗) 一石
- 白米 (十六斗) 一石
- 白米 (十七斗) 一石
- 白米 (十八斗) 一石
- 白米 (十九斗) 一石
- 白米 (二十斗) 一石

今通りの申すは

○ 古樵 小樵

一 庚申ノ日ヨリ十日午ノ日ヨリ
 算一子ノ日マテ是ヲ古樵ト云
 次ノ月ノ日迄ノ間日ト云間ノ
 樵ト云扱上トス

寅ノ日カ申ノ日マテ七日是ヲ
 小樵ト云
 産湯之古樵ニ入ルル方ノ角カ
 あり汲居ト云事 庚申ヨリ
 午ノ日マテノ間ニ汲居タル事
 産湯ノ事ハ一ト云事ト云産
 湯ノ事ハ一ト云事ト云産

十二月 五川ニ産ス

御成飾

白解 三
 上の〜御成飾

一 唯雄親子

口襟花形包

一 玉女神 玉の山向て北に神居座あり
神坐敷親成字跡の山向て北に神坐
此山以て繁き草ありし山は是れ也
神居座の山向て北に神居座あり

神居座の山向て北に神居座あり

一 神雜奏 山向て北に神居座あり
在り越りて山向て北に神居座あり
神居座の山向て北に神居座あり
神居座の山向て北に神居座あり
神居座の山向て北に神居座あり
神居座の山向て北に神居座あり
神居座の山向て北に神居座あり
神居座の山向て北に神居座あり

名

一 白髪 山向て北に神居座あり
神居座の山向て北に神居座あり

○ 神居座の山向て北に神居座あり

一 大ケ 山向て北に神居座あり

一 袖 山向て北に神居座あり

一 月七ケ 山向て北に神居座あり

一 在り通て 山向て北に神居座あり

一 山居座の山向て北に神居座あり

一 山居座の山向て北に神居座あり

一 山居座の山向て北に神居座あり

一 山居座の山向て北に神居座あり

一 山居座の山向て北に神居座あり

山居座の山向て北に神居座あり

一白銀 一包
右の品は色形は方下と云ふ間
以ておのゝ名をなすものなる通に
包形は入らざるもの

の——昆布勝栗
佐杉子 奉命下子

松平田村の各品を聞かして山形は
とあり 奉命下子

奉命下子

正称 何女

中々價成二枚
下の金目五分
上銀七分
上色は去る白銀
ありては上出
高名

宝曆十辰 卯若
年月 奉命何
監目六

一平きん 一町
多額代 何定 奉命下子
こと

一折代色は去る夜
包は水引と云ふ
目録通
右の品の包は 白木目六番

進上
御羽二重 紅 一箱
白 一箱
進上
御草花 一箱

名
御長野子靴 一箱

名

右の品は去る奉命下子の
以上奉命下子の
御所身文字は徳と云ふ
目録通
右の品の包は 奉命下子
御所身文字は徳と云ふ
目録通
以上奉命下子の
御所身文字は徳と云ふ
目録通
以上奉命下子の
御所身文字は徳と云ふ
目録通

羽二重入袋上書

御羽二重白何匹

但目録海部
折八角進上元
中

右衣箱履斗靴包志録中
羽二重九角七目録

目録一右徳成

靴 志貝 糸縷

右三京一量又量一裁目録
以方中全月

進上

御着

一籠

此目録三京物志
志貝上包中
量一裁中右
以方中全月
志録中
右三京一量又量一裁目録

已上

名

進上

御刀

一腰

行光

御腰刀

一腰

志録中
又
横手刀志録

己上

名

名上虫

實名

御刀

一腰

御腰刀 一腰

極札名牛月

御刀何回何元

御腰刀何元

御刀何回何元

御腰刀何元

何元何元

札二重履成
二枚何元

一山下履中書

御刀何回何元

御腰刀何元

上下包多糸二入目録中書

御刀何回何元

包古志方改方何元

右巻長 守中四年...

一床飾傷候一重 仍の包の...

右の信者...

祝の皇子

玉女神、向の御作、皇子親向の
三方位切の、十一日、少の十二日
親を、舟の中、隆候、舟御家
一床飾、方、隆候、且、御金、志、...

又、...

床飾、玉中、隆候、一重、左、右、籠、子
...

御着袴御纏式

一玉女神、...

御長屋針、...

御長屋針、...

一長所、上下、...

此種之成有海草等類而後之也
其方々の者も海草の類に似て居るが
海草の中は海草の類に似て居るが
多量に採るべきものである

海草の類に似て居るが

海草の類に似て居るが

海草の類に似て居るが

海草の類に似て居るが

海草の類に似て居るが

海草の類に似て居るが

海草の類に似て居るが

海草の類に似て居るが

海草の類に似て居るが

海草の類に似て居るが

海草の類に似て居るが

海草の類に似て居るが

海草の類に似て居るが

海草の類に似て居るが

海草の類に似て居るが

海草の類に似て居るが

海草の類に似て居るが

海草の類に似て居るが

海草の類に似て居るが

海草の類に似て居るが

海草の類に似て居るが

海草の類に似て居るが

次雜貨吸納山生室三方山持者
出くしうき事 丁方山持者

- 一 白髪 一 師 又 一 白髪 一 師
- 一 白髪 一 師 一 白髪 一 師
- 一 白髪 一 師 一 白髪 一 師
- 一 白髪 一 師 一 白髪 一 師
- 一 白髪 一 師 一 白髪 一 師
- 一 白髪 一 師 一 白髪 一 師
- 一 白髪 一 師 一 白髪 一 師
- 一 白髪 一 師 一 白髪 一 師
- 一 白髪 一 師 一 白髪 一 師
- 一 白髪 一 師 一 白髪 一 師

右ノ通ニウツテハ巾着多ハ流シ
北形ノ包長丈長柄ハウツテ

巾着ノ名ノ巾着師

- 一 瓶子 二 三方巾着
- 一 瓶子 二 三方巾着
- 一 瓶子 二 三方巾着
- 一 瓶子 二 三方巾着
- 一 瓶子 二 三方巾着
- 一 瓶子 二 三方巾着
- 一 瓶子 二 三方巾着
- 一 瓶子 二 三方巾着
- 一 瓶子 二 三方巾着
- 一 瓶子 二 三方巾着

一 覧名 内ノ長一尺ハ巾 八寸原等
右長 二寸原級 二方ノ巾 五寸中
二ノ巾 紐青ヒラ金ノ

一 柳名一
長一尺 手ノ巾 一 寸巾 △ 土
二ノ巾 七寸
長ノ坑 十二寸 先長 元長
二ノ巾 △ 四寸

一 筆刀卷
長一尺九寸 巾 巾 巾 巾 巾
二ノ巾 七寸
今ノ長 一尺二寸 別ノ一尺 二寸 三寸
右ノ長 一尺二寸 包 巾 巾 巾 巾
左ノ長 一尺二寸 包 巾 巾 巾 巾
右ノ長 一尺二寸 包 巾 巾 巾 巾
左ノ長 一尺二寸 包 巾 巾 巾 巾

墓月相傳

弓張時

南無八幡菩薩ト云返唱
千手観音ノ聖母ト云
向々ト云 如磨来ト云
一返

右法音一ツ一返ツ三度以御之

的ニ向身成突テ

南無住吉大明神 南無广利子天

南無八幡大菩薩
右一返ツ唱ハルニ成候御子
身成候御子成候御子
返開

今更臣祿文 彦良氏付

初メ亦奉り付

南無住吉大明神

弓例

天長比久 男子も生息矣 延年

二度目亦奉り付

亦奉り付 利支天

弓例 日糸

三日月

亦奉り付 大并

弓例 日糸

○御神苗御首髪ヲ梳沙摩師

三方改定奉天
小候十二

瓶子

聯蓬菜 上ニ奉候
のニ包迄

右日

法版日

瓶子

又 瓶子

三方改定奉天

上ノ包迄 又ノ包迄

法版 瓶子

何色ニ方亦代ニ立サレ申サレ

御袖苗ニ奉候ニ方入用ニ不

一筆刀一對

他方女在女ノ羽織軍衣ヲ用候軍衣
又ルテノ本ノ事ニ申サレ長子ニ申サレ

早稲揚ニ守ニシテノ揚リ包上包ニシテ

右ノ入是ノ括ノ包係御髪候ニ

似合フニ是ノ斗括

別紙

甲 斬る由の組式

少後より少前生

少長の一抱也、少後と少前生は

右の如し

但し少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

少前生は少後より少前生は少後

杉鏡 長身 三寸五分
 三寸五分 三寸五分 三寸五分 八分
 手長五分 五分 五分 五分
 大引合 五分 五分 五分 五分

具足 一 條 祝 時 配 酒 飲 數
 一 事 三 款 進 入 承 例 上 括
 列 一 事

一 産 者 一 寸 引 延 毫

一 少 袴 帯 見

似 白 相 三 寸 線 人 長 力 大 二 節
 袴 一 寸 五分 五分 五分 五分 五分 五分

一 事 一 寸 五分 五分 五分 五分 五分 五分

不 及 袴 袴 一 寸 五分 五分 五分 五分 五分

一 事 一 寸 五分 五分 五分 五分 五分 五分

一 事 一 寸 五分 五分 五分 五分 五分 五分

一 事 一 寸 五分 五分 五分 五分 五分 五分

一 事 一 寸 五分 五分 五分 五分 五分 五分

一 事 一 寸 五分 五分 五分 五分 五分 五分

一 身 身 袖 二 寸 引 似 似 白 相 三 寸

長 中 似 人 三 寸 五分 五分 五分 五分 五分

右 寸 五分 五分 五分 五分 五分 五分 五分

似 也 寸 五分 五分 五分 五分 五分 五分

右 似 三 寸 五分 五分 五分 五分 五分 五分

右 似 三 寸 五分 五分 五分 五分 五分 五分

一 事 一 寸 五分 五分 五分 五分 五分 五分

長 三 寸 五分 五分 五分 五分 五分 五分

相 似 三 寸 五分 五分 五分 五分 五分 五分

足 三 寸 五分 五分 五分 五分 五分 五分

石 色 形 水 引 美 五 寸 五分 五分 五分 五分

一 事 一 寸 五分 五分 五分 五分 五分 五分

一 袖 袖 袖 袖 袖

一 事 一 寸 五分 五分 五分 五分 五分 五分

一 事 一 寸 五分 五分 五分 五分 五分 五分

一 事 一 寸 五分 五分 五分 五分 五分 五分

一 事 一 寸 五分 五分 五分 五分 五分 五分

一 事 一 寸 五分 五分 五分 五分 五分 五分

